



山城公園内で毎朝開催されているラジオ体操に参加した。足が弱った男性のために、福山福祉専門学校（同市吉津

## 「地域の絆」の施設利用男性 90代で再びラジオ体操参加 学生ボランティアが協力

NPO  
法人地域の絆（福山市木之庄町四一四―二六、中島康晴代表理事）が運営するグループホーム「コムニティホーム」の仁（ひと）伍（ご）の九〇代の男性利用者が11月25日、福



町の学生三人がボランティアとして介助を行った。

男性はグループホームに居る2016年夏ごろまで、一年以上にわたり連日ラジオ体操に参加。五五〇回を達成した15年5月には福山市ラジオ体操連盟から表彰を受けたほど、情熱を傾けてきた。今回は「もう一度ラジオ体操に参加したい」という本人の思いを知った同ホームのスタッフら五人が、家族の理解を得て参加を企画・実施した。

当日は早朝4時30分に集合。男性はかつて福山城まで約二・五キロの道のりを、自宅から毎朝歩いて通っていた。当日は自宅から会場まで、車いすです約一時間かけて到着。写真上。同ホームの車も伴走して、

体調の変化など万が一に備えた。

福山城公園ではラジオ体操愛好者らの歓迎を受けた写真。男性は車いすに座りつつも体操を行い、達成感に満たされた様子だった写真。 「体調を第一に考え、車いすのクッションや防寒着など十分に配慮した」と、同法人が運営する地域福祉センター仁伍の田中三千代主任。「今後もしも本人の思いを尊重するケアを続けたい」とする。

学生三人は田中主任が手書きしたボランティア募集のポスターを見て、自主的に参加したという。「男性が喜んで



くれる姿を見て感動した「良い経験をさせてもらった」と充実した表情で話していた。

問 地域福祉センター仁伍  
084・973・0832

CHUGOKU 備後の経済情報誌

# Bj ビジネス情報

December 2018

12 | 10